

中原中也 詩人。小林秀雄との屈折した関係の中、ようやく声価を得て集中的詩作も、長男失い、心身疲労で夭折。

なかはらちゅうや

韓国反日暴動1907 = 現在の山口県湯田温泉に軍医の長男に生まれる。

父の転勤に伴い、各地を移る。

幼い頃は、神童と呼ばれていた。

明治天皇没・1912 = 5歳 :

第一次大戦始1914 = 7歳 : 父が朝鮮の軍医長になったため、家族と山口に帰り、尋常小学校に入学。

民本主義・・1916 = 9歳 :

大暴落・・・1920 = 13歳 : 県立山口中学に入学。_(防長新聞)に投稿した短歌が入選。以後、3年投稿を続け、80首余りが入選掲載。

原敬首相暗殺1921 = 14歳 :

水平社結成・1922 = 15歳 :

関東大震災・1923 = 16歳 : _学業成績不良のため落第。京都の立命館中学に転じた。長谷川泰子を知り、同棲。高橋新吉の影響を受けて

治安維持法・1925 = 18歳 : 泰子とともに上京。詩に専心することを決める。富永の紹介で、小林秀雄と知り合う。富永が病没後、泰子が小林と同棲するという事件が起こり、深い傷を受けた。

円本時代始・1926 = 19歳 : *「朝の歌」によって詩人としての方向を自覚。日大に入学するが、無断退学。アテネフランセに通う。

共産党事件・1928 = 21歳 : 小林が泰子の許を去る。父が死去したが、葬儀には帰省しなかった。

世界恐慌・・1929 = 22歳 : *河上徹太郎、大岡昇平らと{白痴群}を創刊、「寒い夜の自我像」などを発表して、魂の全体的な調和への希望と、それが果たされない人間の悲しみを歌った。この年、酔って警察沙汰になる。

海軍軍縮条約1930 = 23歳 : 中央大学予科に入学。泰子が生んだ別の男の子供の名付け親になる。

満州事変・・1931 = 24歳 : 東京外国語学校専修科仏語部に入学。

五一五事件・1932 = 25歳 : _初期・中期の作品を収めた「山羊の歌」を自費出版しようとしたが、成らず、ノイローゼになる。

国際連盟脱退1933 = 26歳 : ノイローゼから回復、作品を次々と発表。東京外語を修了。上野孝子と結婚。

帝人疑獄事件1934 = 27歳 : 長男誕生。*小林秀雄らの力で、「山羊の歌」がやっと刊行される。ランボーの翻訳にも専念。以後、小林秀雄らの{文学界}を自由な発表の舞台とし、また{四季}{歷程}の同人として活動、30年代後半の詩壇における声価をしだいに高めていった。

二二六事件・1936 = 29歳 : _「一つのメルヘン」「言葉なき歌」など、後期の代表作が集中的に書かれるが、この年長男を失って精神的に変調をきたして療養、退院後鎌倉に転居し、次男が誕生後、

日中戦争始・1937 = 30歳 : *「春日狂想」などを書いたが、依然心身の疲労がはなはだしく、ついに帰郷を決意し、第2詩集「在りし日の歌」の編纂を終えたところで結核性脳膜炎を発病、まもなく没した。